

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	IHIグループ人材開発交流センター	階数	地上5F、地下1F
建設地	横須賀市湘南国際村1丁目3542番32他	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	200 人
気候区分		年間使用時間	3,500 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2015年1月12日
敷地面積	9,856 m ²	作成者	株式会社日本設計
建築面積	3,368 m ²	確認日	2015年1月19日
延床面積	9,746 m ²	確認者	株式会社日本設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

参照値

建築物の取組み

上記+ 以外の

上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	既存の植栽を極力保全・活用し、傾斜地を活かした配置としています。敷地の41%以上を緑化することで景観に調和し、敷地周辺の環境との連続感を重視した形態とします。低層部は地形に沿ったシンプルな形態とし、宿泊室部分は豊かな眺望を取り入れます。	その他
Q1 室内環境	複層ガラス、砂利敷き屋根により外皮の断熱性能を向上。宿泊部分は庇及びロールスクリーンによって日光を制御。建築材料はJIS・JAS規格のF の材料を全面的に採用。非喫煙者が煙に曝されないよう、喫煙室を設置。	Q3 室外環境(敷地内)
Q2 サービス性能	宿泊部分の天井高は2.5mを確保。宿泊室の照明の色温度は内装計画に合わせて低めに設定し、くつろぎ感を演出。防鳥ワイヤーを設置し、糞害対策を実施。延床面積に対して、十分な面積のリネン庫・掃除用具入れを設置。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	クールヒートピットを経由して予熱した外気を供給。太陽光発電パネルの設置により、自然エネルギーの活用。	LR3 敷地外環境
LR2 資源・マテリアル	衛生器具は節水器具を採用。女子トイレの大便器は擬音装置を設置し、節水を図る。ウッドデッキやタイルカーペットにリサイクル材を使用。一部居室にOAフロアを採用。	LR3 敷地外環境

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。